

アンケートご協力をお願い

日頃から、本市の高齢者保健福祉行政に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

横浜市では、横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画の改定に際し、3年に1度、介護老人保健施設の皆様の御意見をお伺いする調査を実施しています。

この調査の結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料となりますので、業務ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力を賜りますようお願いいたします。

調査の回答については、12月8日(月)までにご回答くださいますよう、併せて御協力をお願いいたします。

なお、調査報告に関する秘密が保持されることと、個々の施設ごとの調査結果を公表するものではなく、サービスごとの横浜市全体の集計結果を公表する予定であることを申し添えます。

貴施設の概要についてお伺いします。

問1 施設名等を教えてください。

施設名										
介護保険 事業所番号										

問2 貴施設の定員をご記入ください。

		4人 部屋	3人 部屋	2人 部屋	従来型 個室	ユニット型 個室	その他
入所	入所（短期入所は除く）	人	人	人	人	人	人
	短期入所	人	人	人	人	人	人

通所介護	人
------	---

職員、人材確保、処遇等についてお伺いします。

問 3 令和 7 年 10 月 1 日時点の貴施設の職員数についてご記入ください。

職員数とは、貴施設が実施する全ての事業に従事する者（正規・非正規職員問わず）の在籍者総数です。また、職員の市内在住状況を教えてください。ただし、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。該当者がいない場合は空白で結構です。

注 1) 資格ではなく、従事している仕事（職種）に着目して入力してください。

なお、兼務している職員については、主として従事する仕事（職種）にのみ入力してください。

注 2) 正規職員・非正規職員とは

正規職員（雇用している労働者で雇用期間の定めのない者）

非正規職員（正規職員以外の労働者（契約、嘱託、パートなど））

注 3) P T（理学療法士）、O T（作業療法士）、S T（言語聴覚士）等の機能訓練指導員

職種別（下記の職種のみ）（注 1）	正規職員（注 2）	非正規職員（注 2）
①介護職員	人	人
②看護職員	人	人
③生活相談員	人	人
④P T・O T・S T 等（注 3）	人	人
⑤ケアマネジャー	人	人
⑥その他職員	人	人
職員総人数 正規職員：市内在住（ ）人、市外在住（ ）人		
非正規職員：市内在住（ ）人、市外在住（ ）人		

問 3－1 貴施設での外国人介護職員の採用状況について、令和 7 年 10 月 1 日現在で、採用している外国人介護職員の在留資格であてはまるものをお選びください。（あてはまるものすべてに○）

1. 特定活動（経済連携協定「EPA」）	5. 留学
2. 介護	6. その他（具体的に： ）
3. 技能実習（介護）	7. 外国人介護職員を採用していない
4. 特定技能 1 号（介護）	

問3-1で「1」～「6」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問3-2 問3-1で回答した外国人介護職員の在留資格について、令和7年10月1日現在で、資格別の採用人数を国籍別にご記入ください。非該当の在留資格・国籍については無回答（空白）で結構です。

在留資格	採用人数 (人)									
	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他
①『特定活動』（経済連携協定(EPA))										
②『介護』										
③『技能実習』（介護）										
④『特定技能1号』（介護）										
⑤『留学』										
⑥その他										

全ての方に伺います。

問4 貴施設では、従業員の職種別（注1）過不足の状況はいかがですか。（①～⑦それぞれで○はひとつ）
「不足」とは、募集を必要としていることを指します。

注1 資格ではなく、従事している仕事（職種）に着目してください。

注2 PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

職種別(注1)	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない
①介護職員	1	2	3	4	5	6
②看護職員	1	2	3	4	5	6
③支援相談員	1	2	3	4	5	6
④PT・OT・ST 等(注2)	1	2	3	4	5	6
⑤ケアマネジャー	1	2	3	4	5	6
⑥その他職員	1	2	3	4	5	6
⑦全体でみた場合(上記①～⑥について)	1	2	3	4	5	6

問4の⑦で1～3と回答した方にお伺いします。

問4-1 「⑦全体でみた場合」で、不足している理由はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 採用が困難である | 3. 事業拡大によって必要人数が増大した |
| 2. 離職率が高い（定着率が低い） | 4. その他（具体的に |

全ての方に伺います。

問5 令和6年度の人材確保の状況について、人材派遣会社または人材紹介会社の活用によって確保した人数は何名ですか。該当者がいない場合は空白で結構です。

	介護職員	看護職員	その他
① 正規職員	人	人	人
うち人材紹介会社の活用	人	人	人
② 非正規職員	人	人	人
うち人材紹介会社の活用	人	人	人
人材派遣会社の活用	人	人	人

問6 貴施設では職員の採用に際し、どのような工夫を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. ハローワークや福祉人材センターを頻繁に訪れている	8. 新規卒業者や若手にこだわらないようにしている
2. 求人に際し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	9. 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている
3. 職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	10. 福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている
4. 採用について、従来より多くコストをかけている	11. 採用説明会や職場体験を実施している
5. 自施設の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している	12. 内定後のフォローをしっかりと行っている
6. 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	13. くるみん認定など、国や地方自治体の認定等を取得している
7. 福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	14. 子育て支援を行っている（子ども預かり所を設ける、保育費用支援等）
	15. その他（具体的に ）
	16. 特に行っていない

問7 介護職員の人材不足に対し、新たな人材の確保に向けた自治体の取組として、効果的と考えるものは次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 若い世代に向けた介護業界のイメージアップ	9. 人材紹介料の補助
2. 職場体験を実施する施設への支援	10. 潜在介護福祉士の（再）就職支援
3. 新たに介護業界へ就職をする者が資格取得等に関する研修参加をする際の支援	11. ロボット・ICT活用による職員の負担軽減への支援
4. 多様な働き方（時短、夜間のみ、週休3日）の導入支援	12. 子育て世代が働きやすい環境の整備への支援
5. 元気高齢者（ボランティア等）の受入れ支援	13. 合同就職相談会の実施
6. 介護助手の受入れ支援	14. 介護福祉士養成施設に対する財政的支援
7. 外国人介護職員の受入れ支援	15. その他（ ）
8. 介護職員の住居借上支援	16. 自治体からの支援がなくても人材の確保ができています

問8 今後、貴施設において外国人介護職員を受け入れる予定はありますか。新規に受け入れる場合の在留資格の希望についてあてはまるものをお選びください。（あてはまるものすべてに○）

1. 特定活動（経済連携協定「EPA」）
2. 介護
3. 技能実習（介護）
4. 特定技能1号（介護）
5. 留学
6. その他（具体的に： ）
7. 在留資格にこだわりはない
8. 新規に受け入れる予定はない

問8で「1」～「6」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問 8-1 問 8 で回答した新規に受け入れを希望する外国人介護職員について、在留資格別に採用を希望する国籍をご記入ください。

	採用したい国籍										
	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他	国籍にこだわりはない
在留資格											
①『特定活動』（経済連携協定（EPA））	1	2	3								11
②『介護』	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
③『技能実習』（介護）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
④『特定技能１号』（介護）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑤『留学』	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑥その他	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑦在留資格にこだわりはない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

全ての方に伺います。

問9 外国人介護職員を、貴施設で受け入れるにあたり、自治体の取組として効果的と考えるものは次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 在留資格の違いや、受入れ手続きの流れ等を理解するための研修やセミナーの実施
2. 受入れのための入管手続きなどの事務の支援（施設向け相談窓口の設置）
3. 受入れにあたり施設にかかる経費の補助等の経済的支援（住居費等）※給与や紹介手数料は含まない
4. 外国人介護職員向け相談窓口等の生活支援
5. 受入れ施設の職員のための研修（教育方法や、文化等の理解、コミュニケーションの方法等）
6. 外国人介護職員に対する介護に関する研修や日本語研修などの支援
7. 介護福祉士試験合格のための支援
8. その他（ ）
9. 自治体からの支援がなくても、十分受入れができる

問 10 職員の早期離職防止や定着促進を図るために、実施しているものを教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる
2. 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる
3. 賃金水準を向上させている
4. 能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している
5. 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している
6. キャリアに応じた給与体系を整備している
7. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている
8. 新人の指導担当・アドバイザーを置いている
9. 能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)
10. 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている
11. 仕事内容の希望を聞いて配置している
12. 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)
13. 健康対策や健康管理に力を入れている
14. 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)
15. 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている
16. 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
17. 介護ロボットや ICT 等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている
18. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)
19. 職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)
20. 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)
21. スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)を受入れている
22. その他 (具体的に)
23. 特に方策はとっていない

問 11 『スポットワーク等(短時間・単発の就労や有償ボランティア)』の受入れについてどのように考えていますか。(○はひとつ)

- | | |
|---------------------------|-----------|
| 1. すでに受け入れている | 4. 必要ではない |
| 2. 活用に向けて検討している | 5. わからない |
| 3. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない | |

問 12 『スポットワーク等（短時間・単発の就労や有償ボランティア）』について、どのようなイメージを持っていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 柔軟に人材を確保できる | 5. 人材の質にばらつきがある |
| 2. 急な欠員に対応できる | 6. 教育・研修に時間がかかる |
| 3. 採用コストを抑えられる | 7. 職員との連携や利用者とのコミュニケーションが取りづらい |
| 4. 働き方改革につながる | 8. イメージがわからない |

問 13 貴施設で採用しているスポットワーク等の働き方について教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 直接雇用の短時間勤務者 | 5. 雇用仲介アプリを使ったスキマバイト |
| 2. 直接雇用の単発バイト | 6. ギグワーク（業務委託契約した単発の仕事） |
| 3. 人材派遣 | 7. その他（ ） |
| 4. 有償ボランティア | 8. スポットワーク等を活用していない |

問 14 『介護助手』の受入れについてどのように考えていますか。（○はひとつ）

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. すでに受け入れている | 4. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない |
| 2. 受け入れる準備をしている | 5. 必要ではない |
| 3. 受け入れるかの検討をしている | 6. わからない |

問 15 貴施設における介護職員等処遇改善加算の届出状況を教えてください。（○はひとつ）

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 届出をしている（届出予定を含む） | → 問 15－1 へ |
| 2. 届出をしていない | → 問 15－2 へ |

問 15 で「1. 届出をしている（届出予定を含む）」と回答した方にお伺いします。

問 15－1 貴施設では、どのように介護職員等処遇改善計画書の周知を行っていますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 掲示板等への掲示 | 3. 面談・会議等での説明 |
| 2. メールや回覧形式等による通知 | 4. その他（具体的に ） |

問 15 で「2. 届出をしていない」と回答した方にお伺いします。

問 15－2 介護職員等処遇改善加算の届出を行わない理由について、教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 対象の制約のため困難 | 5. 非常勤職員等の処遇上の問題 |
| 2. 事務作業が煩雑 | 6. 賃金改善の必要性がない |
| 3. 追加費用負担の発生 | 7. 算定要件を達成できない |
| 4. 利用者負担の発生 | 8. その他（具体的に ） |

全ての方に伺います。

問 16 令和 6 年度に離職（注 1）した人数は何名ですか。

注 1)「離職者」とは、令和 6 年度中に施設を退職したり、解雇された者をいい、他企業への出向者・出向復帰者を
含み、同一企業内での転出入者を除く。

注 2) 正規職員・非正規職員とは

正規職員（雇用している労働者で雇用期間の定めのない者）

非正規職員（正規職員以外の労働者（契約、嘱託、パートなど））

常勤労働者（1 週の所定労働時間が主たる正規職員と同じ者）

短時間労働者（1 週の所定労働時間が主たる正規職員に比べ短い者）

	介護職員	看護職員	その他
①正規職員（注 2）	人	人	人
②非正規職員（注 2）	人	人	人
常勤労働者	人	人	人
短時間労働者	人	人	人

待機者及び入退所者についてお伺いします。

問 17 令和 7 年 10 月 1 日時点の待機者の人数を記入してください。

人

問 18 貴施設における待機者数は満床にするために十分であると感じていますか。（○はひとつ）

- | | | | |
|----------|-------------------|-----------------------|-----------|
| 1. 十分である | 2. どちらかといえば
十分 | 3. どちらかといえば
十分ではない | 4. 十分ではない |
|----------|-------------------|-----------------------|-----------|

問 18 で「3」「4」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問 18－1 待機者数が、満床にするために十分ではない理由として考えられる要因はどれですか。

（あてはまるものすべてに○）

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 近隣に高齢者施設が多い |
| 2. 施設へのアクセスが悪い |
| 3. 居住費等の利用料が高額である |
| 4. 医療処置など特別なケアを要する入所者の受入が困難である |
| 5. 建物・設備の老朽化 |
| 6. 入所希望者に施設の特色が伝わっていない |
| 7. その他（具体的に： <input type="text"/> ） |

全ての方に伺います。

問 19 空床を解消するために必要な支援として効果が期待できると思うものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 特定の入所希望者への経済的支援
2. 従来型への改築・新築の推奨・支援
3. 職員の加配に対する財政支援
4. 医療ニーズなど特別なケアを要する入所希望者受け入れへの財政支援
5. 要介護1・2の特列入所の要件緩和
6. 入退所プロセスの簡素化
7. 介護スタッフ施設職員の安定的な供給
8. 高齢者施設・住まいの相談センターの機能強化
9. その他 (具体的に: _____)

問 20 貴施設では次のことを理由に、入所(継続)を断ることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | | | |
|---------|---|----------|----------------|---|----------|
| 1. 医療処置 | → | 問 20-1 へ | 3. 医療処置及び認知症以外 | → | 問 20-5 へ |
| 2. 認知症 | → | 問 20-3 へ | 4. 断ることはない | → | 問 21 へ |

問 20 で「1. 医療処置」と回答した方にお伺いします。

問 20-1 何の医療処置を理由に入所を断ることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--|
| 1. 点滴の管理 | 9. 経管栄養 (経鼻経管栄養) |
| 2. 中心静脈栄養 | 10. 経管栄養 (胃ろう・腸ろう) |
| 3. 透析 | 11. 痰吸引 |
| 4. ストーマ (人工肛門) の処置 | 12. モニター測定 (血圧、心拍、酸素飽和度等) |
| 5. 酸素療法 | 13. 褥瘡 ^{じょくそう} の処置 |
| 6. レスピレーター (人工呼吸器) | 14. カテーテル (コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等) |
| 7. 気管切開の処置 | 15. その他 |
| 8. 疼痛の看護 | (具体的に _____) |

問 20 で「1. 医療処置」と回答した方にお伺いします。

問 20-2 貴施設では、医療処置を理由に、入所(継続)を断る場合、次のいずれかの機関を紹介していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 介護療養型医療施設 (介護医療院) | 4. どこも紹介していない |
| 2. 医療療養型医療施設 | 5. その他 |
| 3. 一般病床 | (具体的に _____) |

問 20 で「2. 認知症」と回答した方にお伺いします。

問 20-3 認知症状を理由に入所（継続）を断る場合、その方の認知症高齢者の日常生活自立度はどの程度ですか。（○はひとつ）

1. II 以上 2. III 以上 3. IV 以上 4. M 以上 5. その他（具体的に ）

問 20 で「2. 認知症」と回答した方にお伺いします。

問 20-4 認知症状を理由に入所（継続）を断る場合、断る理由となる具体的な症状はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 昼夜逆転がある	5. 収集癖がある
2. 大声を出す	6. 物や衣類を壊す
3. 介護に抵抗する	7. 他者に手を出す
4. 1 人で出たがる	8. その他
	（具体的に ）

問 20 で「3. 医療処置及び認知症以外」と回答した方にお伺いします。

問 20-5 具体的にどのような理由でしょうか。

自由記載

全ての方に伺います。

問 21 貴施設では「身元保証人」がいないことを理由に、入所（継続）を断ることがありますか。（○はひとつ）

1. はい 2. いいえ 3. その他（具体的に ）

問 21 で「1. はい」と回答した方にお伺いします。

問 21-1 入所（継続）を断る理由について記入してください。

自由記載

施設のサービスや運営、取組状況についてお伺いします。

全ての方に伺います。

問 22 貴施設ではショートステイの利用申込みは、通常、入所日の何日くらい前なら希望の日程で対応できますか。（〇はひとつ）

1. 前日	4. 2週間から1か月前	7. ショートステイを実施していない → 問 24 へ
2. 2日前から1週間前	5. 1か月から2か月前	
3. 1週間から2週間前	6. 2か月以上前	

問 23 ショートステイの利用申込みについて受入れできない場合、どのようなことが理由になっていますか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 利用希望日が満床だった	3. 重度の人への対応が困難であった
2. 医療処置の対応が困難であった	4. その他（具体的に ）
	5. 受入れできないことがない

問 24 令和7年10月1日時点の貴施設の入所者に対するリハビリテーションの実施状況についてお伺いします。

リハビリ実施人数（実人数）と、うち個別リハビリ実施人数（実人数）を記入してください。

（複数種類のリハビリを行っている場合は、それぞれのメニューに重複して計上してください）

	リハビリ実施人数（実人数）	うち個別リハビリ実施人数（実人数）
①理学療法	人	人
②作業療法	人	人
③言語療法	人	人

問 25 貴施設の運営やサービス向上のために、どのような情報や支援が必要ですか。次のうち必要と考えられる情報・支援を3つまでお選びください。（〇は3つまで）

1. 介護保険制度・介護報酬等に関する情報	11. 定員の空き状況、空室・空床に関する情報
2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	12. 緊急時ショートステイや入院などの受入れ先情報
3. 情報提供・相談等の窓口	13. 事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ
4. 介護技術・方法に関する情報	14. ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ
5. 認知症ケアに関する情報	15. サービス展開のための土地・建物に関する情報
6. 医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	16. その他
7. 困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	（具体的に ）
8. 介護予防に関する情報	17. 特に必要な情報・支援はない
9. 研修・講座等に関する情報	
10. 周辺事業所や医療機関に関する情報	

問 26 地域とどのような内容で連携をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 地域の行事への参加 | 5. 地元商店街や企業からの商品等購入 |
| 2. 講師として指導してもらう | 6. 認知症サポーター養成講座の開催 |
| 3. 施設イベントへの招待 | 7. 災害対策・避難訓練 |
| 4. 小学校・中学校の体験学習 | 8. その他(具体的に) |
| | 9. 特にない |

問 27 介護ロボット等、ICT 機器の導入や利用についてどのような課題・問題があるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. 導入コストが高い | 7. 清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である |
| 2. どのような介護ロボットや ICT 機器があるかわからない | 8. 投資に見合うだけの効果がない |
| 3. ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える | 9. 介護現場の実態に合う介護ロボットや ICT 機器がない、現場の役に立つ介護ロボットや ICT 機器がない |
| 4. 技術的に使いこなせるか心配である | 10. その他(具体的に) |
| 5. 誤作動の不安がある | 11. 課題・問題は特にない |
| 6. 設置や保管等に場所をとられてしまう | |

問 28 ボランティアの受入れ頻度とよこはまシニアボランティアポイント事業の実施状況について教えてください。（（１）、（２）それぞれに○を一つ）

	1. ほぼ毎日	2. 週１日 (月４回) 程度	3. 月２回 程度	4. 月１回 程度	5. 年に数 回程度	6. 受け入 れていない
(１) よこはまシニア ボランティアポイント 事業	1	2	3	4	5	6
(２) その他のボラン ティア	1	2	3	4	5	6

問 28 の（１）（２）で「１」～「５」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問 28－１ 施設で受け入れているボランティアの活動内容をお選びください。

（（１）、（２）それぞれあてはまるものすべてに○）

（１）よこはまシニアボランティアの活動内容

1. レクリエーションなどの指導、参加支援 (音楽の演奏・踊り等も含む)	6. 話し相手
2. お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	7. 洗濯物の整理や衣類の縫製
3. 食事介助の補助	8. 入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等
4. 散歩、外出、館内移動の補助	9. 施設への利用者の送迎
5. 施設関係行事の手伝い	10. その他（具体的にお書きください）

（２）その他のボランティアの活動内容

1. レクリエーションなどの指導、参加支援 (音楽の演奏・踊り等も含む)	6. 話し相手
2. お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	7. 洗濯物の整理や衣類の縫製
3. 食事介助の補助	8. 入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等
4. 散歩、外出、館内移動の補助	9. 施設への利用者の送迎
5. 施設関係行事の手伝い	10. その他（具体的にお書きください）

全ての方に伺います。

問 29 貴施設を運営する上での問題点はどれですか。（〇は3つまで）

1. 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない
2. 経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない
3. 良質な人材の確保が難しい
4. 新規利用者の確保が難しい
5. 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している
6. 介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある
7. 管理者の指導・管理能力が不足している
8. 教育・研修の時間が十分に取れない
9. 介護従事者間のコミュニケーションが不足している
10. 経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している
11. 利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している
12. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない
13. 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている
14. 雇用管理等についての情報や指導が不足している
15. その他（具体的に _____ ）
16. 特に問題はない

施設の老朽化対策についてお伺いします。

問 30 施設の築年数をお選びください。（あてはまるもの1つに〇）

注1)増築をした施設の場合、既存建物の築年数をお選びください。

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1. 0～4年 | 5. 20～24年 | 9. 40～44年 |
| 2. 5～9年 | 6. 25～29年 | 10. 45～49年 |
| 3. 10～14年 | 7. 30～34年 | 11. 50年以上 |
| 4. 15～19年 | 8. 35～39年 | |

問 31 施設の大規模修繕の予定をお選びください。（あてはまるもの1つに〇）

1. 大規模修繕の具体的な予定が10年以内にある
2. 大規模修繕の必要性を感じているが、具体的な予定を立てられていない
3. 大規模修繕を10年以内に実施する必要性を感じていない

※大規模修繕に該当する例：施設の全体または広範囲、複数個所にわたって実施するもの（外壁補修、屋上防水の更新、居室やトイレの内装リニューアル、照明設備のLED化、非常用自家発電設備の導入、空調配管の更新、エレベーターの更新、厨房設備の更新、浴槽の交換等。）

※大規模修繕に該当しない例：施設の一部で実施するもの、応急的対応・メンテナンス行為（外壁調査、屋上防水の部分的な補修、漏水した部分のみの天井の補修、電球の交換、エレベーターの定期保守・メンテナンス等。）

問 31 で 1 と回答した方にお伺いします。

問 31-1 予定している大規模修繕の概要を記入してください。

※該当しない場合、「0」とご記入ください。

※不明な場合、「-」とご記入ください。

※エリア・棟を分けて発注する等、工事が複数の期にわたる場合には、まとめて記載していただいて構いません。

※設計管理料や工事に伴う一時移転等の付随する費用が発生した場合には、合わせてご記入ください。

①時期 (西暦)	②工事費総額 (税込)	③工事費の資金調達 (税込)				④工事内容 (あてはまるもの すべてに○)
		※②の内訳 (概数)				
		ア 自己 資金	イ 補助 金	ウ 借入 金	エ その他寄 付等	
<div>年</div>	<div>約</div> <div>万円</div>	<div>約</div> <div>万円</div>	<div>約</div> <div>万円</div>	<div>約</div> <div>万円</div>	<div>約</div> <div>万円</div>	01 外壁 02 屋根/屋上防水 03 内装 04 電気設備 05 空調設備 06 給排水設備 07 EV 等昇降機 08 消防設備 09 その他の設備機器 ()

問 31 で 2 と回答した方にお伺いします。

問 31-2 大規模修繕の具体的な予定が立てられない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

【準備資金の不足】 1. 自己資金を十分に確保できない (具体的に) 2. 活用できる補助制度がない 3. 借入金を十分に借りられない (具体的に) 4. その他 ()	
【工事、用地や代替施設の確保等】 5. 建築価格や資材価格が高騰している 6. 用地の確保が困難 7. 工事中に利用者と職員が移転して事業を継続する代替施設の確保が困難 8. 作業スペースがなく (狭く)、重機や足場を組むことが困難 9. 資材の搬入、残土搬出、資材置き場、仮設事務所のスペースが困難 10. その他 ()	
【その他】 ()	

全ての方に伺います。

問 32 貴施設の建物、設備の老朽化による機能低下や劣化の状況について、場所、設備ごとにご回答をお願いします。（それぞれに○はひとつ）

※ 本調査における「老朽化の程度」は、建築の専門家等による診断結果ではなく、ご回答者様からみて、次項の主な例にあてはまる数が多いかどうかによりご回答をお願いするものです。

	小 ← 老朽化の程度 → 大				
01 外壁	1	2	3	4	5
02 屋根/屋上防水	1	2	3	4	5
03 内装（居室、廊下、階段、食堂、事務室等）	1	2	3	4	5
04 電気設備	1	2	3	4	5
05 空調設備	1	2	3	4	5
06 給排水設備	1	2	3	4	5
07 エレベーター昇降機	1	2	3	4	5
08 消防設備	1	2	3	4	5
09 その他の設備機器（ ）	1	2	3	4	5

【上記の判断基準例】

- 1 非常に良好: 明らかな不具合はなく、見た目・機能ともに非常に良好な状態。今後数年間は修繕の必要はなし。
- 2 良好: 一部に経年劣化が見られるが、機能に支障はなく、使用上の問題はない。定期的な点検・軽微な補修で対応可能。
- 3 やや劣化: 外観や機能劣化が見られ、今後数年以内に修繕・交換の検討が必要。使用には支障がないが、注意が必要。
- 4 劣化が著しい: 劣化が進んでおり、部分的に使用に支障がある。早期の修繕・交換が望ましい状態。
- 5 非常に劣化している: 著しい損傷や故障があり、安全性や機能性に重大な問題がある。即時の対応が必要。

問 33 老朽化による機能低下や劣化を原因として、利用者の安全性や生活の質の向上に関して生じている課題についてお聞かせください。（あてはまるもの最大2つに○）

1. 日常のケアが停止、変更になることの増加
2. 転倒・転落リスクが高まる
3. ヒートショック、熱中症のリスクが高まる
4. QOLの低下が懸念される
5. 災害発生時の避難の困難性が高まる
6. プライバシーの確保が困難
7. その他（ ）
8. 特になし

問 33 で「1」～「7」のいずれかに回答した方にお伺いします。

問 33-1 具体的なエピソードをお聞かせください。

例) 給湯設備の故障による利用者への食事提供や入浴提供への影響がある。

夏にエアコンの故障により、利用者が熱中症になる可能性がある。

エレベーターの不具合や水漏れが発生することで、職員の業務に支障をきたす可能性がある。

--

全ての方に伺います。

問 34 大規模修繕に用いるための積立金の準備状況をお選びください。（あてはまるものすべてに○）

1. 施設単位で、修繕のみに用いる積立金を独立して確保している
2. 施設単位で、他の積立金（人件費等）と合算して確保している
3. 法人単位で、修繕のみに用いる積立金を独立して確保している
4. 法人単位で、他の積立金（人件費等）と合算して確保している
5. その他（）
6. 計画的に確保していない

問 34 で 1 ～ 2 と回答した方にお伺いします。

問 34-1 施設として準備している大規模修繕に活用できる積立金の額をお選びください。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 0円（積立なし） | 5. 2,000万円～5,000万円未満 |
| 2. ～500万円未満 | 6. 5,000万円～1億円未満 |
| 3. 500万円～1,000万円未満 | 7. 1億円以上 |
| 4. 1,000万円～2,000万円未満 | 8. 金額不明／回答できない |

問 34 で 6 と回答した方にお伺いします。

問 34-2 大規模修繕に用いるための積立金を計画的に確保していない理由をお選びください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 運営費が逼迫しており、積立に回す余裕がないため
2. 修繕の際は都度、現金預金や補助金、借入で対応する方針のため
3. 建物が比較的新しく、まだ積立の必要性を感じていないため
4. 修繕積立金として積み立てると使途が限定されるため（柔軟な資金運用を優先しているため）
5. 修繕積立の制度や方法について十分な情報がないため
6. その他（ ）

全ての方に伺います。

問 35 中長期（5～10 年後）の、施設の大規模修繕に備える費用の準備状況をお選びください。

(あてはまるもの1つに○)

- | |
|--|
| 1. 費用を確保できる見通し
2. 費用を確保することが難しい
3. わからない
4. 10年以内に大規模修繕の予定がない |
|--|

問 36 既存施設における中長期（５～１０年後）の事業展開をお選びください。

（あてはまるものすべてに○）

1. 現状維持のまま	
2. 定員規模の拡大を検討している	
3. 定員規模の縮小を検討している	
4. 他施設との合併を検討している	
5. 廃止・撤退を検討している	
6. 一部の事業の廃止・撤退を検討している（具体的に	）
7. その他（	）
8. 検討していない	

問 37 施設運営の中長期（５～１０年後）の見通しにおける課題をお選びください。

（それぞれあてはまるもの１つに○）

	課題の大きさ				
	小さい				大きい
1. 利用者の需要、確保	1	2	3	4	5
2. 職員の確保	1	2	3	4	5
3. 後継者不足	1	2	3	4	5
4. 事業を展開するための資金の確保	1	2	3	4	5
5. 大規模修繕、改築（建替え）	1	2	3	4	5
6. 介護保険制度、高齢者福祉の動向	1	2	3	4	5
7. その他（ ）	1	2	3	4	5

【上記の判断基準例】

- 1（非常に小さい）問題なし：現状で特に課題は見られない。
- 2（小さい）軽微な課題：現状では大きな問題はないが、将来的に注意が必要。
- 3（中程度）課題あり：現状維持は可能だが、改善の余地がある。
- 4（大きい）重要な課題：中期的に対応が必要。計画的な改善が求められる。
- 5（非常に大きい）深刻な課題：早急な対応が必要。放置すると運営に重大な支障が出る。

問 38 今後の事業展開に向けて、施設の建物・設備の老朽化によって生じる懸念事項についてお聞かせください。

--

問 39 期待する支援策について、該当するものをお選びください。（あてはまるもの最大3つまで）

- | | |
|---|---|
| 1. 災害発生時の利用者及び職員の安全確保を目的とした設備改修への費用補助 | |
| 2. プライバシー確保、感染症への対応のための設備改修への費用補助 | |
| 3. 職員の負担軽減、生産性向上に向けた設備改修の費用補助（介護ロボット・ICT 機器の導入、DX 化等） | |
| 4. 省エネ、SDGs 等に向けた設備改修の費用補助 | |
| 5. 設備の老朽化による大規模修繕への費用補助 | |
| 6. 建築や設備の専門コンサルへの費用補助 | |
| 7. 借入申請要件の緩和（具体的に | ） |
| 8. 工事中に利用者と職員が移転して事業を継続できる代替施設の建築、もしくは確保 | |
| 9. 介護報酬（基本報酬、地域区分等）の引上げ | |
| 10. その他（ | ） |
| 11. なし | |

ご協力ありがとうございました。